

「でんきと私」

山口県立 萩商工 高等学校

電気コース 1年 長尾 隆義

勉強することは嫌いではないから進学校にしようか、日頃使っている電気について知りたいから工業高校にしようかととても悩んだ。悩んでいるときに、将来就きたい仕事はなにか考える時間があり、電気に関する仕事に就きたいと真っ先に頭に浮かんだから、工業高校にした。

入学してすぐに第二種電気工事士筆記試験に向け勉強することになった。今まで実用性を感じられないことばかり覚えてきたが、これは将来に直結すると感じられとても楽しく勉強することができた。技能試験もものづくりで楽しく、完成していくことに達成感を感じられ、電気工事士がとても魅力的な職業だと思った。

それから、ものづくりコンテストの電気工事部門に出場して、金属管の加工だけでなく、ステップルでのケーブルの貼り付け作業など第二種電気工事士よりも規模が大きく、作業時間が110分と長かった。練習と大会はきつかったが、どんどん綺麗に素早く作るれるようになって、自分の成長を感じられたのが嬉しかった。

資格ともものづくりを通して電気工事士に興味をわいた。さらに、進路ガイダンスの時に電気工事士の方から、「電気が通ったときの達成感」「電気で人を笑顔にしたとき、こっちも嬉しい」などのやりがいを教えてもらった。

電気工事士の仕事に就きたいと思う気持ちもあるが、高校生活もまだ長いので、たくさん知識や経験などを得る。そして、もう一度どの仕事に就きたいのかしっかりと考えていきたい。